

GLEXにおける文部科学省からの プレゼンテーション(概要)

参考資料

ワシントンDCで開催された国際宇宙探査会議には 文部科学省から大竹審議官(研究開発局担当)が出席し テクニカルプレゼンテーションを行った 概要は以下のとおり

- ◆日時 平成24年5月22日(火)10時~13時
- ◆テクニカルセッション ISS as the foundation for Exploration
- ◆出席者 NASA ESA MEXT/JAXA ダーインク社等
- ◆プレゼンタイトル 「日本の挑戦~ISS計画における最新成果~」

◆概要

「きぼう」での代表的な実績 成果や今後更に獲得していく必要がある宇宙医学の知見や有人宇宙技術について紹介 今後の探査についてISSが担うべき役割について以下の見解を発言

技術的にも財政的にも国際協力が適当

ISSでの科学的な知見の蓄積や技術的な実現性の検証が重要

有人探査にはクルー1人1人の安全を確保することが不可欠

宇宙探査のモチベーションは活動領域の拡大というもの以外に 基礎研究分野として科学的な知見を獲得するという共通の利益がある など